

化膿性脊椎炎とは、何らかの原因で血液に混入した細菌が脊椎のクッションの役目をしている椎間板や椎体自体に運ばれ、その場所で化膿してしまい、発熱を伴った腰、背中や首の痛みが出現する病気です。病気が進行すると脊椎の変形や手足の麻痺が出現し、手術を行っても後遺症が残る場合もあります。米国感染症学会からも2015年に診療ガイドラインが発表され、注目されている病気です。

原因となる細菌としては、黄色ブドウ球菌が代表的ですが、そのほかにもクレブシエラや大腸菌などの嫌気性菌や結核菌などによっても病気は引き起こされます。以前は、発生頻度が少ない病気でしたが、免疫力の低下している高齢者の方や、ステロイド療法中の方、糖尿病、透析、肝臓疾患、悪性腫瘍などの治療を受けている方の増加に伴い、当院においても年間10～20人程度の方が入院加療を行っています。治療は、安静と抗菌薬による保存療法が主体ですが、抗菌薬の効果が不十分な場合、炎症が神経まで波及する場合、骨破壊が大きい場合には手術が必要になることもあります。診断が遅くなることで治療が難しくなるために、医療機関への早期の受診が重要となります。

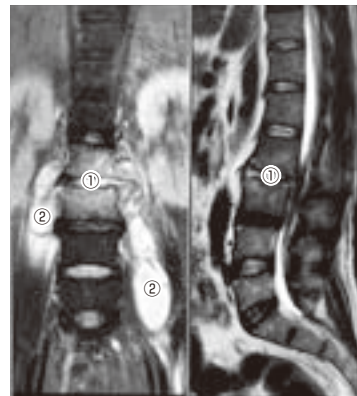
では、続いて症状や治療法など、この疾患にみられる特徴をもう少し詳しく説明します。

**【症状】** 38度を超すような発熱や安静時にも認められる首、背中、腰の痛みが特徴的です。皆さんに良く知られている椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症では熱が出ませんので、脊椎に沿った痛みを感じられたら、まずは体温を測ってみてください。さらに、炎症が神経まで広がると、足の痛みやしびれも出現します。

**【診断】** 問診や診察に加え、レントゲンで骨の破壊の有無を調べ、MRI検査で感染部位や神経の圧迫を確認します。初

期にはレントゲンでの骨破壊は認められないので、症状とMRIが診断の鍵となります。画像診断とともに重要な検査が血液検査です。白血球の増加やCRP、プロカルシトニン等の急性炎症マーカーの上昇を調べます。ここまでで、ほぼ診断は確定されますので、その後は原因菌や効果のある抗菌薬を調べるために血液培養を行います。

**【治療】** 安静と抗菌薬による治療が基本です。コルセットを作成し、ベッド上で安静にいただき、抗菌薬を平均6週間使用します。その間に、血液検査で炎症反応を調べ、抗菌薬の効果をチェックします。しかし、安静期間に関しては、治療開始時の炎症の強さや既往症の有無によって変動があります。炎症反応が陰性化し、レントゲンで骨破壊の進行が停止し、さらには新しい骨ができたことが確認されるか、MRIで感染巣が消失したことが認められた後にリハビリテーションを行います。しかし、抗菌薬に抵抗し、炎症が神経まで波及する際には手術を行い、神経の除圧と炎症部の洗浄を行います。また、骨破壊の強い場合には、脊椎の固定術を行う必要性が生ずる場合があります。



どのような病気も早期診断、早期治療が原則ですので、上記の症状があれば、近くの整形外科を受診するか、かかりつけの先生に是非、相談してください。

◀化膿性脊椎炎のMRI画像  
①椎間板の炎症部位  
②周囲の筋肉にも炎症が波及

## 2月の休日当番医

診療時間：午前10時～午後4時

当番医は変更になる場合がありますので、必ず確認してからお出かけください。この時間以外の診療は、志木消防署☎(472)0119へお問い合わせください。

日	場所	施設名	科目	電話	場所	施設名	科目	電話
5日	朝霞	弁財泌尿器科・内科クリニック	泌・内	(487)8160	和光	大森耳鼻咽喉科医院	耳	(467)3314
11日(土)	志木	たで内科クリニック	内・消内・アレ・糖内	(485)2600	志木	内田耳鼻咽喉科医院	耳・気・外・精	(473)3387
12日	和光	和光駅前クリニック	外・内・小・整外・消内・肛・リハ	(460)3466	朝霞	まつおか眼科クリニック	眼	(450)2030
19日	朝霞	あいかわ循環器内科・内科	循内・内	(461)8585	和光	富澤整形外科・内科	整外・リウ・泌・内・消内・リハ	(468)3456
26日	朝霞	朝霞台クリニック	内	(472)1288	新座	中島眼科	眼	(479)1313

◆休日歯科応急診療所◆(新座市保健センター内)  
2月11日(土) 午前9時～11時30分  
問合せ/☎(481)2211

◆大人の救急電話相談◆ #7000  
月～土曜日 午後6時30分～10時30分  
日曜日、祝休日、年末年始 午前9時～午後10時30分  
ダイヤル回線、IP電話、ひかり電話の場合  
☎048(824)4199

◆救急医療お問い合わせ◆(歯科案内と医療相談を除く)  
埼玉県救急医療情報センター ☎048(824)4199

◆小児救急電話相談◆ #8000  
月～土曜日 午後7時～翌日午前7時  
日曜日、祝休日 午前7時～翌日午前7時  
ダイヤル回線、IP電話、ひかり電話の場合  
☎048(833)7911